



折井課員

第123回

入ってきたばかりの新人社員やトイレ清掃に関わらない方は
各部位の名称に聞きなじみがなく、構造上のどの部分を指しているのかわからず、困ることがあると思います。
今回の清掃知識+1は小便器の各部位の名称と汚れやすい部分を紹介します！



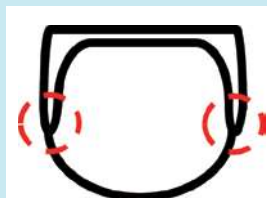
吐水口 (スプレッダー)

吐水口とは水が出てくる部分で、人を感知すると水が流れるセンサー式、決められた時間に水が流れる時限式、ボタンを押して流すボタン式などがあります。

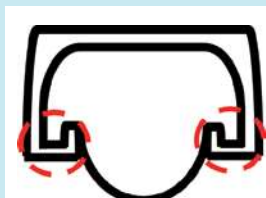
リム

リムとは便器のふちの部分で、最近では清掃のしやすいリム裏がないタイプが多くなってきました。

小便器を上から見た図



リム裏がないタイプ



リム裏があるタイプ

目皿 (排水トラップ)

臭気が排水管から上がってこないようにすることと、物などを落とした時に排水管に落ちてしまわないようにする役割があります。

リップ (タレ受け)

尿が跳ね返って衣服にかかるのを防ぐ役割があります。

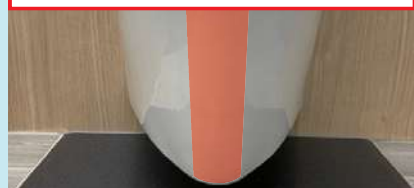
汚れやすい場所を プラスワン

+1

リップ (タレ受け) の内側に尿石などが付着しやすいので、しっかりと確認しましょう。

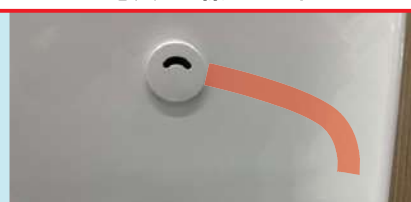


赤色の部分に尿が垂れて汚れやすいので、赤クロスを用いて、忘れずに拭き上げを行いましょう。



吐水口から水が流れてあたるエリアは比較的きれいなのですが、水があたらない場所に尿石などが少しずつ蓄積されていきます。その部分を意識して清掃を行うことにより品質を維持することができます。日々の清掃で意識してみてください。

水が流れる場所と流れない場所の境目に水垢などが付きやすいです。利き手と逆側は力が入りにくいので念入りに擦りましょう。



リムの部分は尿石などが付きやすいので、入念に擦り洗いを行いましょう。

